



We love 海青

2025年7月10日

学校便り No.9

校長 森 慎也

唐津市鎮西町横竹838番地9

学校教育目標

夢や目標をもち、海青中を誇りに思う生徒の育成

～笑顔と優しさあふれる学校に～

■ 唐津地区中体連結果（3日目・4日目） そして、いざ県大会へ！

7月5日（土）、6日（日）に、唐津地区中体連の3日目、4日目が行われました。天候にも恵まれ、3競技の選手たちは、最後まで全力でプレーすることができたようです。残念ながら、中学生での競技を終えることとなった3年生は、次の目標に少しでも早くシフトチェンジして、歩き出してほしいと思います。県大会へ出場するチーム（男子・女子卓球団体）または個人（ソフトテニス個人・女子卓球個人）の人たちは、悔いが残らないような2週間にしてほしいと思います。

競 技	結 果	競 技	結 果
ソフトテニス個人	M.Mさん I.Mさん ペア 第3位 県大会出場	軟式野球	第3位 僅差で県大会出場ならず
バレーボール	第3位 僅差で県大会出場ならず		

試合の翌日、校門であいさつ運動をしていると「わざわざ応援ありがとうございました。」と感謝の言葉を自然と口に出してくれた生徒が数名いました。ご家庭での心の教育と3年間部活動を通して学んで得た素晴らしい「成果」だと感じました。

■ 子育てサロン開催（3年生）

7月4日（金）、7日（月）の2日間、3年生の技術・家庭科の家庭分野の授業の一環として、唐津市教育委員会事業中学校子育てサロンを中学校内に設置し、NPO 法人唐津市子育て支援情報センター様のご協力をいただき、中学生と地域の乳幼児親子のみなさんとの触れ合いを行いました。生徒が赤ちゃんや小さい子どもを見る目や表情は、いつも以上に優しく、穏やかでした。



- ・妊婦体験をして、お腹の重さや足元の見えづらさ、歩きづらさ、しゃがみづらさ、寝づらさから、妊婦さんの負担や気持ちを理解することができました。（T.Yさん）
- ・正直子どもは苦手なので何とも言えない時間でしたが、子どもを育てている人たちの大変さを知ることができました。そして、大変だけど、ここまで育ててくれたお母さんとお父さんには感謝しないといけないと思いました。（T.Kさん）
- ・子どもの感情の読み取りが難しく、どうしていいかが分らなかったです。できたら褒めてあげたり、拍手をすると真似して拍手をしてくれたりしてとても嬉しかったです。（M.Kさん）
- ・「子どものためには、自分の時間を使ってでも」とおっしゃっていたので、私の両親もそんな苦労の中でここまで育ててくれたことに改めて感謝したいです。「命を育む」の中には、いろいろな人の関わりや支えがあってこそ「命」なので、私も将来「命を育む」ことをして、「命」を繋いでいきたいです。（F.Yさん）

■ 海青校区の歴史（武寧王）について学びました（1年生）

7月8日（火）、3時間目（1年1組）、4時間目（1年2組）

に、松島中や加唐中、呼子中などで社会科の先生をされておられた大草重幸さんを講師にお招きして、海青校区の歴史についてお話をいただきました。学習指導要領歴史的分野の内容の中に、「身近な地域の歴史を学ぶ」という項目がありますので、社会科の授業の一環として行われ、今回で4回目です。1971年、韓国で武寧王のお墓が発掘され、墓誌石から武寧王が亡くなった年（西暦523年）と享年（62歳）が判明し、日本書紀の記述と一致したことで、百濟第25代の王「武寧王」が加唐島で生まれたことが証明されたそうです。子どもたちは、熱心に大草さんの話を聞いていました。



■ 海青中の先生達の夢 ～坂下萌花先生編～ Vol. 2

第2回目は、7月9日（水）に行い、今年、新規採用で海青中に赴任した5組B担任の坂下萌花先生に話をしてもらいました。子どもたちは、真剣な眼差しで耳を傾けていました。

坂下先生の話の概要

- ・初めて夢を抱いたのは、保育園児の時で、となりのトトロになりたかった。
- ・中学時代は、本好きから出版社で編集の仕事への夢をもった。また、校内放送をきっかけに、声でいろいろなことを伝えたくて、アナウンサーへの憧れも抱いた。
- ・高校時代は、救命救急士や弁護士のサポートをするパラリーガルへの夢を抱いた。
- ・これまで、いろいろな夢をもったが、夢が変わるときにはきっかけがあった。
- ・夢をもてない人は、視野が狭い可能性があるため、視野（世界）を広げるための行動、例えば、いろいろなことを調べたり、ボランティア活動に参加したり、多くの人と関わったりすることが大切だと思う。
- ・大きな目標をもち、その目標を達成するために小さな目標を立て、それを継続して実行することが大切。
- ・私の今の目標は、サッカー部を勝たせること。そのために、チームに足りないものを観察し、生徒と共に行動をしていきたい。



■ 心が温かくなり、ジーンときた出来事…(´;ω;`)ウツ…

7月9日（水）、生徒朝会が始まる前の出来事でした。学芸委員長のY.Aさん、生活委員長のH.Sさんの二人が、パイプ椅子をもって私の前を通過していきました。歩いていく先の体育館後方を見たところ、1年生の生徒がけがのためすでに椅子に座っていました。「他に誰かがをしている生徒がいるのだろうか？」と思いながら目で追いつけたところ、中島由香里先生へ渡していました。「すごい心遣いと優しさだな…。心が育っているな！」と感心しました。実は、中島先生のお腹には赤ちゃんがいて、二人は、中島先生の体を気遣っての行動でした。大人である我々も気づかなかったことを気づいて行動に移した優しい心に朝からジーンときました。休み時間や昼休みにも、他の子どもたちが中島先生のところへ行って、体調を心配するような言葉をかけたり、中には、名前を考えようとしてくれたりする子どももいます。こんな素晴らしい子どもたちがいる学校で働けていることに、改めて心から嬉しく思いました。